

信号変換基板 取扱説明書

接続 → RS232C (VPステータス確認タイプ)

三菱製 VP LVP-XD3200用

(有) ロジックス

857-0055

長崎県佐世保市湊町2-15

E-mail : logix@lgx.co.jp

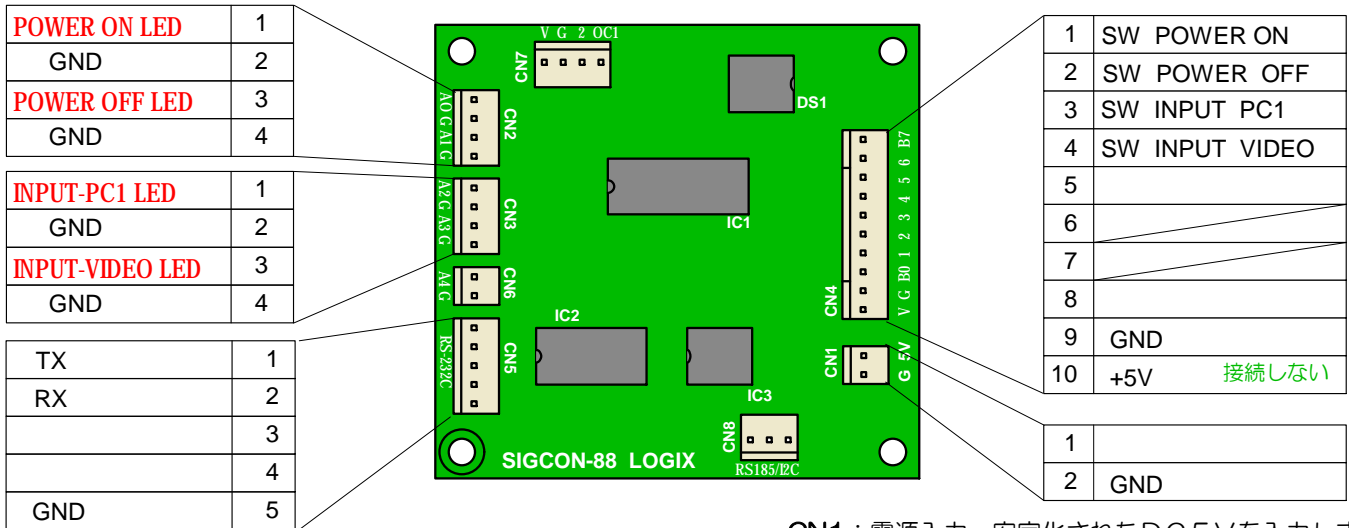
電話 : 0956-25-3963

FAX : 0956-25-3964

WebPage : www.lgx.co.jp

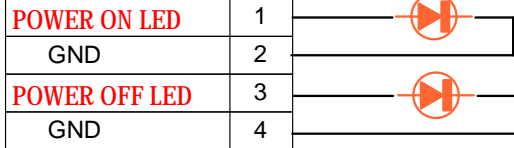
この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。
入出力の様子は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。
注意点として、接続入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

LED出力電流は基板上で約15ミリアンペアになるように制限しています。

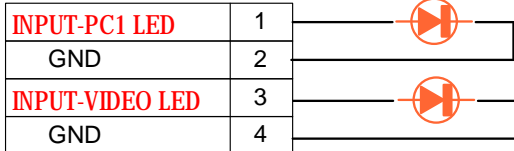


CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力 : 50mA以下)

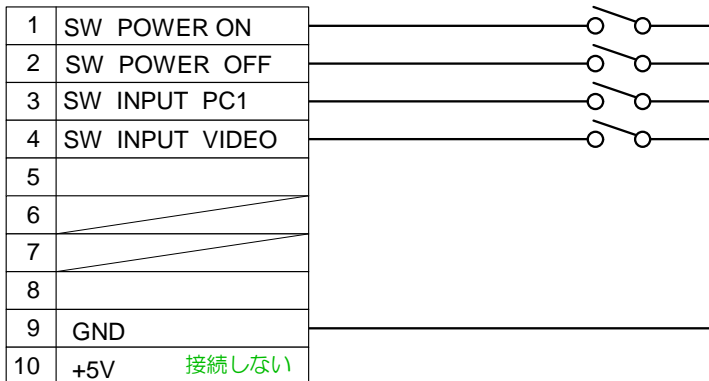
CN2 : POWER LED 出力



CN3 : INPUT LED 出力

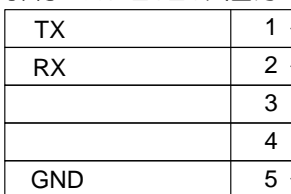


CN4 : パラレルコントロール入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当するコマンドが出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

CN5 : RS-232C入出力



Dsub9P オスコネクタ

VP SERIAL 端子へ

RS-232Cケーブル

